



東京工芸大学・風工学共同研究拠点・研究集会（2016年2月26日）のご案内

機械固定的工法防水システムの耐風性能評価に関する研究集会（2）

趣旨：屋根の露出防水工法として施工性、耐候性あるいは環境保全などの観点から、合成高分子系シート防水・機械的固定工法（以後、本防水工法）が多く施工されています。この工法は、屋根面に作用する負圧によって防水シート固定部に大きな応力が集中的に作用するため、風荷重に対する強度を確認し、防水層の固定ピッチを決定する必要があります。現状、本防水層の風荷重に対する耐力は、静的な引張試験の破壊強度を基準として確認していますが、これらの試験ではシートを吸い上げる力（鉛直力）のみが考慮され、最近田中等が実測で明らかにしたシートを横に引張る力（水平力）は考慮されていないのが現状です。

本研究は、東京工芸大学風工学研究センターの「外装材耐風圧性能試験装置（以後、耐風圧装置）」を用いて横力を発生させる方法を考案し、本防水工法の耐風性試験方法について検討しております。2015年に開催した第1回に引き続き、第2回目となります今回は、耐風圧装置での試験結果、繰返し風荷重の設定方法、鉛直・水平同時載荷可能な試験装置などの情報について公開研究会を企画しました。多くの方々のご意見とアドバイスを頂きたく参加をお願い申し上げます。

栗田 剛（東急建設株式会社）

主 催：東京工芸大学風工学研究拠点（文部科学省共同利用・共同研究拠点）

後 援：合成高分子ルーフィング工業会

と き： 2016年2月26日（金）14：30～16：45

と ころ： 浜町区民館 東京都中央区日本橋浜町三丁目37番1号 電話 03-3668-2354
（案内図・次頁参照）

<プログラム>（講演者の都合により変更されることがあります。）

14:30～14:50 【趣旨説明】 機械的固定方法による防水システムの耐風性能評価法の合理化に資する
情報の整備 大熊武司（神奈川大学）

14:50～15:10 機械固定的工法防水システムの耐風設計 中村修治（合成高分子ルーフィング工業会）

15:10～15:30 外装材耐風圧性能試験装置による機械的固定工法防水システムの実験結果
加藤信男（東急建設株式会社）

———— 休憩 10分 ————

15:40～16:00 繰返し風荷重の設定方法と耐風性能評価の試み
鈴木直登（合成高分子ルーフィング工業会）

16:00～16:20 いくつかの耐風性能評価試験装置の提案 栗原 健（合成高分子ルーフィング工業会）

16:20～16:45 討論とまとめ 司会・まとめ：栗田 剛（東急建設株式会社）

参加申込：事前登録制とさせていただきます。

wejurc+160226p@gmail.comに、ご氏名、ご所属、ご連絡先をお送りください。

参加費用：無料

問合せ先：東京工芸大学風工学研究拠点事務局 TEL：046-242-9658

会場案内図



最寄りの交通機関

- ・中央区コミュニティバス(江戸バス)北循環19番 浜町敬老館バス停すぐ
- ・東京メトロ日比谷線人形町駅下車A1番出口 徒歩15分
- ・都営地下鉄浅草線人形町駅下車A3番出口 徒歩17分
- ・東京メトロ半蔵門線水天宮前駅下車7番出口 徒歩10分
- ・都営地下鉄新宿線浜町駅下車A2番出口 徒歩5分
- ・都バス「錦11錦糸町駅－築地駅」浜町二丁目下車 徒歩2分

